

日興FWS・新興国債インデックス(為替ヘッジあり) 日興FWS・新興国債インデックス(為替ヘッジなし)

追加型投信／海外／債券／インデックス型

日経新聞掲載名：NS興債イ有／NS興債イ無

2022年8月2日から2023年7月31日まで

第 2 期 決算日：2023年7月31日

受益者の皆さまへ

平素は格別のお引立てに預かり、厚くお礼申し上げます。

当ファンドはマザーファンドへの投資を通じて、主として米ドル建ての新興国の公社債に投資し、ベンチマークの動きに連動する投資成果を目指します。当期についても、運用方針に沿った運用を行いました。

今後ともご愛顧のほどお願い申し上げます。

当期の状況

	(為替ヘッジあり)	(為替ヘッジなし)
基準価額(期末)	7,042円	9,685円
純資産総額(期末)	445百万円	2,841百万円
騰落率(当期)	-4.7%	+6.8%
分配金合計(当期)	0円	0円

※騰落率は、分配金(税引前)を分配時に再投資したと仮定して計算したものです。



三井住友DSアセットマネジメント

〒105-6426 東京都港区虎ノ門1-17-1
<https://www.smd-am.co.jp>

- 口座残高など、お取引状況についてのお問い合わせ
お取引のある販売会社へお問い合わせください。
- 当運用報告書についてのお問い合わせ

コールセンター 0120-88-2976
受付時間：午前9時～午後5時(土、日、祝・休日を除く)

当ファンドは、信託約款において「運用報告書(全体版)」に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めており、次の手順でご覧いただけます。なお、印刷した「運用報告書(全体版)」はご請求により交付させていただきますので、販売会社までお問い合わせください。

【閲覧方法】<https://www.smd-am.co.jp/fund/unpo/>にアクセス→ファンド名を入力→検索結果からファンドを選択

1 運用経過

基準価額等の推移について(2022年8月2日から2023年7月31日まで)

基準価額等の推移

日興FWS・新興国債インデックス(為替ヘッジあり)



※分配金再投資基準価額およびベンチマークは、期首の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

期首	7,390円
期末	7,042円 (既払分配金0円(税引前))
騰落率	-4.7% (分配金再投資ベース)

分配金再投資基準価額について

分配金再投資基準価額は分配金(税引前)を分配時に再投資したと仮定して計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示します。

※分配金を再投資するかどうかについては、受益者の皆さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額などによって課税条件も異なります。したがって、受益者の皆さまの損益の状況を示すものではありません。(以下、同じ)

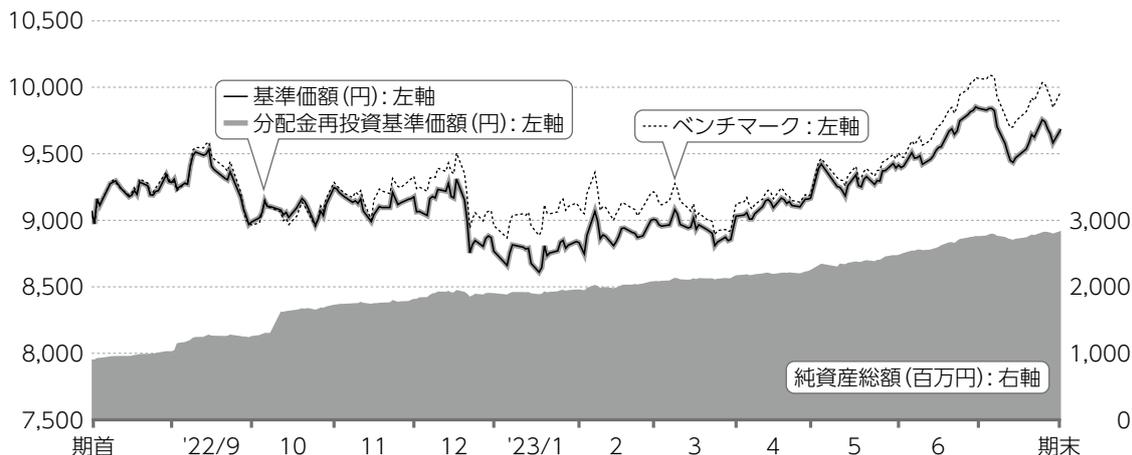
※当ファンドのベンチマークは、JPモルガン・エマージング・マーケット・ボンド・インデックス・プラス(円ヘッジ換算ベース)です。

※JPモルガン・エマージング・マーケット・ボンド・インデックス・プラス(円ヘッジ換算ベース)は、J.P.モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが公表する指数(JPモルガン・エマージング・マーケット・ボンド・インデックス・プラス)を基に委託会社が換算したものです。

JPモルガン・エマージング・マーケット・ボンド・インデックス・プラスは、信頼できると思われる情報に基づいて作成していますが、J.P. Morganはその完全性・正確性を保証するものではありません。委託会社は同インデックスの使用許諾を得て使用しています。J.P. Morganからの書面による事前承諾なく同インデックスを複製・使用・頒布することは禁じられています。また、J.P. Morganは当ファンドの取引および運用成果等に関して一切責任を負いません。

Copyright © 2021, J.P. Morgan Chase & Co. All rights reserved.

日興FWS・新興国債インデックス(為替ヘッジなし)



※分配金再投資基準価額およびベンチマークは、期首の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

期首	9,071円
期末	9,685円 (既払分配金0円(税引前))
騰落率	+6.8% (分配金再投資ベース)

分配金再投資基準価額について

分配金再投資基準価額は分配金(税引前)を分配時に再投資したと仮定して計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示します。

※分配金を再投資するかどうかについては、受益者の皆さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額などによって課税条件も異なります。したがって、受益者の皆さまの損益の状況を示すものではありません。(以下、同じ)

※当ファンドのベンチマークは、J Pモルガン・エマージング・マーケット・ボンド・インデックス・プラス(円換算ベース)です。
 ※J Pモルガン・エマージング・マーケット・ボンド・インデックス・プラス(円換算ベース)は、J.P.モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが公表する指数(J Pモルガン・エマージング・マーケット・ボンド・インデックス・プラス)を基に委託会社が換算したものです。
 J Pモルガン・エマージング・マーケット・ボンド・インデックス・プラスは、信頼できると思われる情報に基づいて作成していますが、J.P. Morganはその完全性・正確性を保証するものではありません。委託会社は同インデックスの使用許諾を得て使用しています。J.P. Morganからの書面による事前承諾なく同インデックスを複製・使用・頒布することは禁じられています。また、J.P. Morganは当ファンドの取引および運用成果等に関して一切責任を負いません。
 Copyright © 2021, J.P. Morgan Chase & Co. All rights reserved.

基準価額の主な変動要因(2022年8月2日から2023年7月31日まで)

日興FWS・新興国債インデックス(為替ヘッジあり)

当ファンドは、マザーファンドへの投資を通じて、米ドル建ての新興国の国債に投資することにより、JPモルガン・エマージング・マーケット・ボンド・インデックス・プラス(円ヘッジ換算ベース)の動きに連動する投資成果を目指して運用を行いました。

外貨建資産については、対円で為替ヘッジを行いました。

上昇要因

- 保有している米ドル建て新興国債からのクーポン収入

下落要因

- 保有している米ドル建て新興国債の価格が下落したこと

日興FWS・新興国債インデックス(為替ヘッジなし)

当ファンドは、マザーファンドへの投資を通じて、米ドル建ての新興国の国債に投資することにより、JPモルガン・エマージング・マーケット・ボンド・インデックス・プラス(円換算ベース)の動きに連動する投資成果を目指して運用を行いました。

実質組入外貨建資産については、対円での為替ヘッジを行いませんでした。

上昇要因

- 日米利回り差の拡大を背景に、米ドル・円が上昇したこと
- 保有している米ドル建て新興国債からのクーポン収入

下落要因

- 保有している米ドル建て新興国債の価格が下落したこと

1万口当たりの費用明細(2022年8月2日から2023年7月31日まで)

日興FWS・新興国債インデックス(為替ヘッジあり)

項目	金額	比率	項目の概要
(a) 信託報酬	14円	0.197%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率×(経過日数／年日数) 期中の平均基準価額は7,020円です。
(投信会社)	(10)	(0.143)	投信会社:ファンド運用の指図等の対価
(販売会社)	(2)	(0.033)	販売会社:交付運用報告書等各種資料の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受託会社)	(2)	(0.022)	受託会社:ファンド財産の保管および管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	－	－	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数 売買委託手数料:有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(株式)	(－)	(－)	
(先物・オプション)	(－)	(－)	
(投資信託証券)	(－)	(－)	
(c) 有価証券取引税	－	－	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 有価証券取引税:有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株式)	(－)	(－)	
(公社債)	(－)	(－)	
(投資信託証券)	(－)	(－)	
(d) その他費用	2	0.028	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
(保管費用)	(1)	(0.020)	保管費用:海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監査費用)	(0)	(0.006)	監査費用:監査法人に支払うファンドの監査費用
(その他)	(0)	(0.002)	その他:信託事務の処理等に要するその他費用
合計	16	0.226	

※期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出しています。

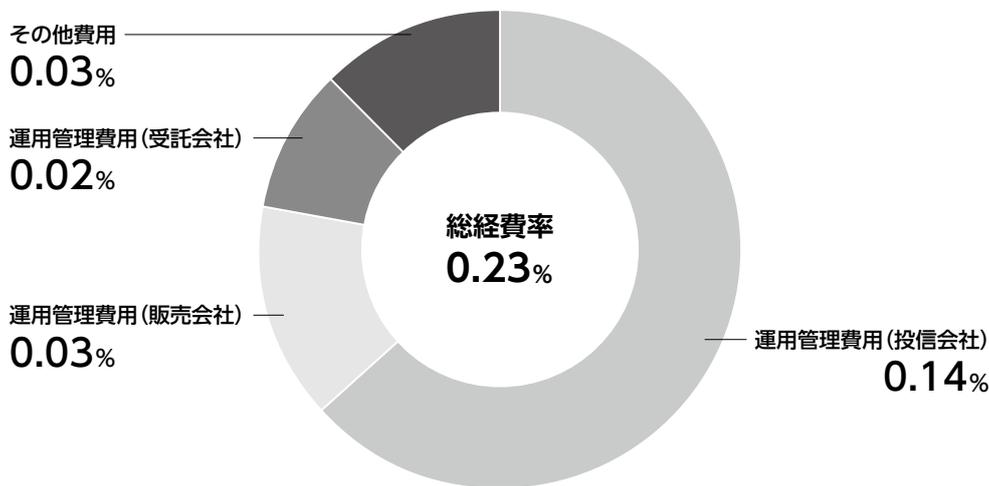
※比率欄は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

※各項目毎に円未満は四捨五入しています。

※売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含まず。



参考情報 総経費率(年率換算)



※各費用は、前掲「1万口当たりの費用明細」において用いた簡便法により算出したもので、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

※各比率は、年率換算した値(小数点以下第2位未満を四捨五入)です。

※上記の前提条件で算出しているため、「1万口当たりの費用明細」の各比率とは、値が異なる場合があります。なお、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

当期中の運用・管理にかかった費用の総額(原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。)を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額(1口当たり)を乗じた数で除した総経費率(年率換算)は0.23%です。

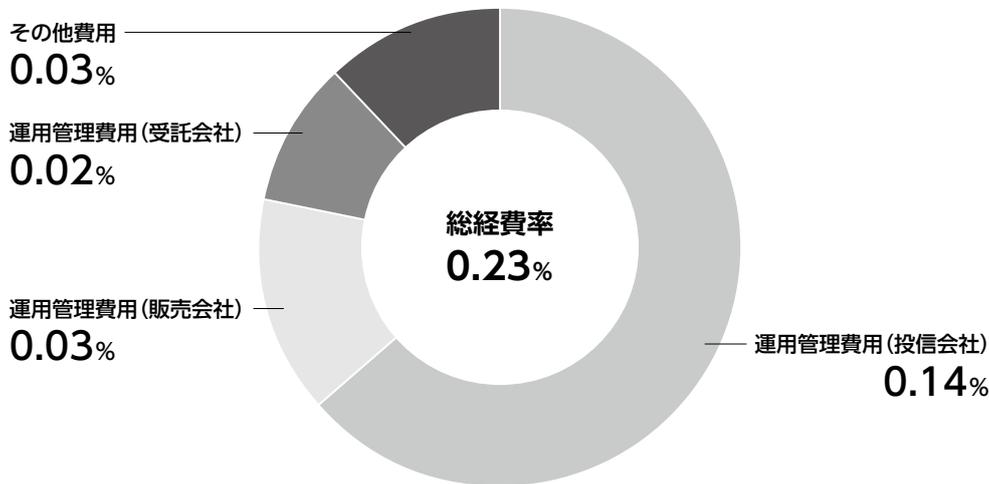
日興FWS・新興国債インデックス(為替ヘッジなし)

項目	金額	比率	項目の概要
(a) 信託報酬	18円	0.197%	信託報酬=期中の平均基準価額×信託報酬率×(経過日数/年日数) 期中の平均基準価額は9,176円です。
(投信会社)	(13)	(0.143)	投信会社: ファンド運用の指図等の対価
(販売会社)	(3)	(0.033)	販売会社: 交付運用報告書等各種資料の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受託会社)	(2)	(0.022)	受託会社: ファンド財産の保管および管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	-	-	売買委託手数料=期中の売買委託手数料/期中の平均受益権口数
(株式)	(-)	(-)	売買委託手数料: 有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(先物・オプション)	(-)	(-)	
(投資信託証券)	(-)	(-)	
(c) 有価証券取引税	-	-	有価証券取引税=期中の有価証券取引税/期中の平均受益権口数
(株式)	(-)	(-)	有価証券取引税: 有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(公社債)	(-)	(-)	
(投資信託証券)	(-)	(-)	
(d) その他費用	2	0.027	その他費用=期中のその他費用/期中の平均受益権口数
(保管費用)	(2)	(0.020)	保管費用: 海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監査費用)	(1)	(0.006)	監査費用: 監査法人に支払うファンドの監査費用
(その他)	(0)	(0.000)	その他: 信託事務の処理等に要するその他費用
合計	21	0.224	

※期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出しています。
 ※比率欄は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。
 ※各項目毎に円未満は四捨五入しています。
 ※売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含まず。



参考情報 総経費率(年率換算)



※各費用は、前掲「1万口当たりの費用明細」において用いた簡便法により算出したもので、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含まず。
 ※各比率は、年率換算した値(小数点以下第2位未満を四捨五入)です。
 ※上記の前提条件で算出しているため、「1万口当たりの費用明細」の各比率とは、値が異なる場合があります。なお、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

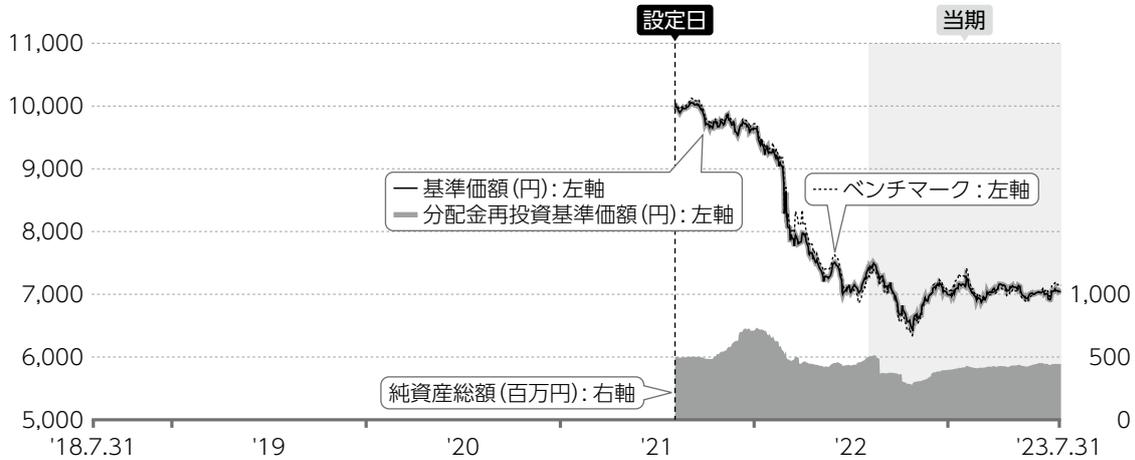
当期中の運用・管理にかかった費用の総額(原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。)を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額(1口当たり)を乗じた数で除した総経費率(年率換算)は0.23%です。

最近5年間の基準価額等の推移について(2018年7月31日から2023年7月31日まで)

当ファンドは、ファンド設定後5年間を経過していないため、設定日(2021年8月3日)以降の情報を記載しています。

最近5年間の推移

日興FWS・新興国債インデックス(為替ヘッジあり)



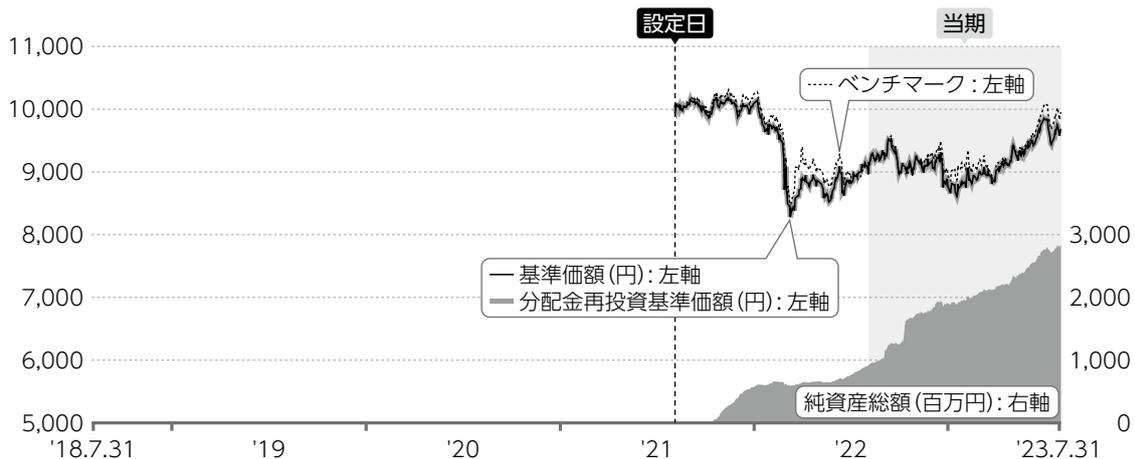
※ベンチマークは、設定日の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

	2021.8.3 設定日	2022.8.1 決算日	2023.7.31 決算日
基準価額 (円)	10,000	7,390	7,042
期間分配金合計(税引前) (円)	-	0	0
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	-	-26.1	-4.7
ベンチマーク騰落率 (%)	-	-27.1	-2.0
純資産総額 (百万円)	500	499	445

当ファンドは、ファンド設定後5年間を経過していないため、設定日(2021年8月3日)以降の情報を記載しています。

最近5年間の推移

日興FWS・新興国債インデックス(為替ヘッジなし)



※ベンチマークは、設定日の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

	2021.8.3 設定日	2022.8.1 決算日	2023.7.31 決算日
基準価額 (円)	10,000	9,071	9,685
期間分配金合計(税引前) (円)	-	0	0
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	-	-9.3	6.8
ベンチマーク騰落率 (%)	-	-9.4	9.9
純資産総額 (百万円)	1	909	2,841

投資環境について(2022年8月2日から2023年7月31日まで)

米ドル建て新興国債券市場の利回りは、上昇(価格は下落)しました。為替市場では米ドルが対円で上昇しました。

米ドル建て新興国債券市場

インフレの加速を受けた金融引き締めを背景に、米国債利回りが上昇しました。米国の利上げサイクルが終盤に近いとの期待からリスクセンチメント(リスクに対する投資家心理)が改善し、米ドル建て新興国債スプレッド(米国債利回りに対する上乗せ利回り)は縮小しました。しかし、米国債利回りの上昇幅がより大きかったため、結果として、米ドル建て新興国の債

券利回りは上昇しました。

ただし、債券のクーポン収入を加味したトータルリターンは、プラスとなりました。

為替市場

インフレ加速を受けた米国での金融引き締めを背景に、日米利回り差が拡大し、米ドル・円は上昇しました。

ポートフォリオについて(2022年8月2日から2023年7月31日まで)

日興FWS・新興国債インデックス(為替ヘッジあり)

期を通じて主要投資対象である「米ドル建て新興国債インデックス・マザーファンド」を高位に組み入れました。外貨建資産については、対円で為替ヘッジを行いました。

日興FWS・新興国債インデックス(為替ヘッジなし)

期を通じて主要投資対象である「米ドル建て新興国債インデックス・マザーファンド」を高位に組み入れました。

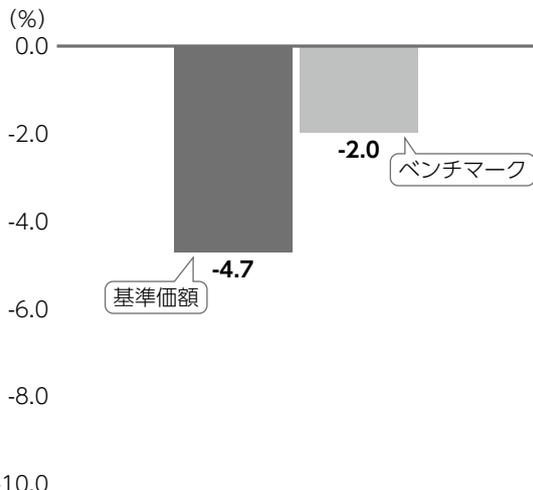
米ドル建て新興国債インデックス・マザーファンド

米ドル建ての新興国債に投資することにより、JPモルガン・エマージング・マーケット・ボンド・インデックス・プラス(円換算ベース)の動きに連動する投資成果を目指して運用を行いました。ただし、運用の効率性を勘案し、流動性の高い国、銘柄を中心に投資しました。

ベンチマークとの差異について(2022年8月2日から2023年7月31日まで)

日興FWS・新興国債インデックス(為替ヘッジあり)

基準価額とベンチマークの騰落率対比



当ファンドは、JPモルガン・エマージング・マーケット・ボンド・インデックス・プラス(円ヘッジ換算ベース)をベンチマークとしています。記載のグラフは、基準価額とベンチマークの騰落率の対比です。

※基準価額は分配金再投資ベース

ベンチマークとの差異の状況および要因

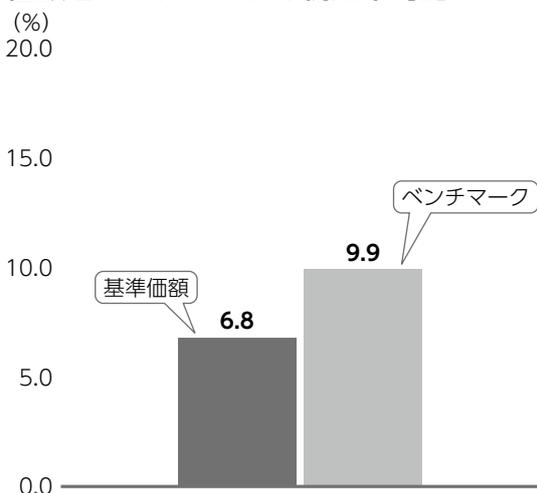
基準価額の騰落率は-4.7%(分配金再投資ベース)となり、ベンチマークの騰落率-2.0%を2.7%下方乖離しました。

下方乖離要因

- 流動性リスクが高くポートフォリオで非保有としている一部の低格付銘柄の価格が、他の銘柄に比べて大きく上昇したため

日興FWS・新興国債インデックス(為替ヘッジなし)

基準価額とベンチマークの騰落率対比



当ファンドは、JPモルガン・エマージング・マーケット・ボンド・インデックス・プラス(円換算ベース)をベンチマークとしています。記載のグラフは、基準価額とベンチマークの騰落率の対比です。

※基準価額は分配金再投資ベース

ベンチマークとの差異の状況および要因

基準価額の騰落率は+6.8%(分配金再投資ベース)となり、ベンチマークの騰落率+9.9%を3.1%下方乖離しました。

下方乖離要因

- 流動性リスクが高くポートフォリオで非保有としている一部の低格付銘柄の価格が、他の銘柄に比べて大きく上昇したため

分配金について(2022年8月2日から2023年7月31日まで)

日興FWS・新興国債インデックス(為替ヘッジあり)
日興FWS・新興国債インデックス(為替ヘッジなし)

(単位：円、1万口当たり、税引前)

項目	第2期	
	(為替ヘッジあり)	(為替ヘッジなし)
当期分配金	0	0
(対基準価額比率)	(0.00%)	(0.00%)
当期の収益	-	-
当期の収益以外	-	-
翌期繰越分配対象額	607	554

※単位未満を切り捨てているため、「当期の収益」と「当期の収益以外」の合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。

※「対基準価額比率」は、「当期分配金」(税引前)の期末基準価額(分配金(税引前)込み)に対する比率で、当ファンドの収益率とは異なります。

期間の分配は、複利効果による信託財産の成長を優先するため、各ファンドとも見送りいたしました。

なお、留保益につきましては、運用の基本方針に基づき運用いたします。

2 今後の運用方針

日興FWS・新興国債インデックス(為替ヘッジあり)

引き続き主要投資対象である「米ドル建て新興国債インデックス・マザーファンド」を高位に組み入れます。外貨建資産については、対円で為替ヘッジを行います。

日興FWS・新興国債インデックス(為替ヘッジなし)

引き続き主要投資対象である「米ドル建て新興国債インデックス・マザーファンド」を高位に組み入れます。

米ドル建て新興国債インデックス・マザーファンド

米国では、底堅い労働市場や根強いインフレ圧力を背景に、F R B(米連邦準備制度理事会)はインフレ抑制を優先する姿勢を当面継続することが予想されます。ただし、今後は累積した利上げの効果によるインフレ鈍化と景気減速が徐々に進むにつれて、F R Bのタカ派(インフレ抑制を重視する立場)姿勢が後退し、金利は緩やかに低下す

る展開を予想します。

米ドル建て新興国債のスプレッドは、グローバルにインフレが鈍化に転じつつあり、各国の利上げサイクルが終盤に近い見込みであることが新興国市場の下支え材料になりやすいと想定します。ただし、新興国内では景気やインフレ、金融政策、地政学リスクの状況に差が出ており、今後もファンダメンタルズ(基礎的条件)に応じて、国によってまちまちな動きになりやすいと想定します。

米ドル・円は、インフレ抑制に向けたF R Bの利上げ姿勢が当面の米ドルのサポート要因となる見通しです。しかし、その後は米国の景気減速やインフレ鈍化により米金利が緩やかに低下していくとみられることに加え、日銀の政策修正が意識される中、緩やかに米ドル安・円高に向かう展開を予想します。ただし、日銀の緩和的な姿勢は維持されるとみられることから、円の上昇幅は限定的となる見通しです。

上記見通しのもと、引き続き、J Pモルガン・エマージング・マーケット・ボンド・インデックス・プラス(円換算ベース)に近似させるよう運用を行います。ただし、運用の効率性を勘案し、流動性の高い国、銘柄を中心に投資します。

3 お知らせ

約款変更について

日興FWS・新興国債インデックス(為替ヘッジあり)
日興FWS・新興国債インデックス(為替ヘッジなし)

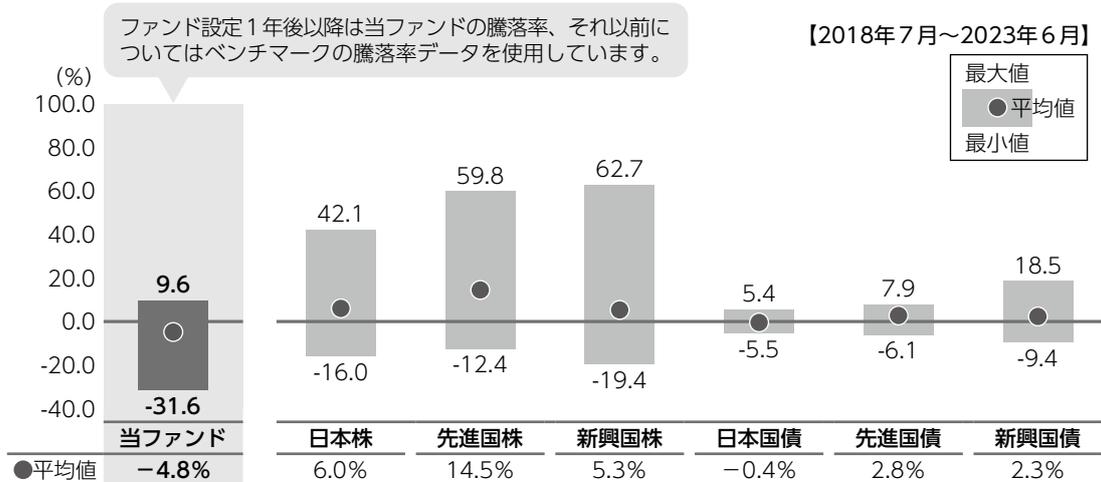
該当事項はございません。

4 当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／債券／インデックス型
信託期間	無期限(設定日：2021年8月3日)
運用方針	マザーファンドへの投資を通じて、主として米ドル建ての新興国の公社債に投資し、ベンチマークの動きに連動する投資成果を目指します。
主要投資対象	当ファンドは以下のマザーファンドを主要投資対象とします。 米ドル建て新興国債インデックス・マザーファンド 新興国の公社債等
当ファンドの運用方法	日興FWS・新興国債インデックス(為替ヘッジあり) ■主として米ドル建ての新興国の公社債に投資し、JPモルガン・エマージング・マーケット・ボンド・インデックス・プラス(円ヘッジ換算ベース)の動きに連動する投資成果を目指します。 ■実質組入外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を図ります。 日興FWS・新興国債インデックス(為替ヘッジなし) ■主として米ドル建ての新興国の公社債に投資し、JPモルガン・エマージング・マーケット・ボンド・インデックス・プラス(円換算ベース)の動きに連動する投資成果を目指します。 ■実質組入外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを行いません。
組入制限	当ファンド ■株式への実質投資割合は信託財産の純資産総額の10%以下とします。 ■外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。 米ドル建て新興国債インデックス・マザーファンド ■株式への投資割合は信託財産の純資産総額の10%以下とします。 ■外貨建資産への投資割合には制限を設けません。
分配方針	■年1回(原則として毎年7月31日。休業日の場合は翌営業日)決算を行い、分配金額を決定します。 ■分配対象額は、経費控除後の利子、配当等収益と売買益(評価損益を含みます。)等の範囲内とします。 ■分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。 ※委託会社の判断により分配を行わない場合もあるため、将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">ファンドは複利効果による信託財産の成長を優先するため、分配を極力抑制します。 (基準価額水準、市況動向等によっては変更する場合があります。)</div>

5 代表的な資産クラスとの騰落率の比較

日興FWS・新興国債インデックス(為替ヘッジあり)



※上記期間の月末ごとに、それぞれ直近1年間の騰落率を算出し、最大・平均・最小を表示しています。よって、決算日に対応した数値とは異なります。

※当ファンドの騰落率は、分配金(税引前)を分配時に再投資したと仮定して計算したものです。

※全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

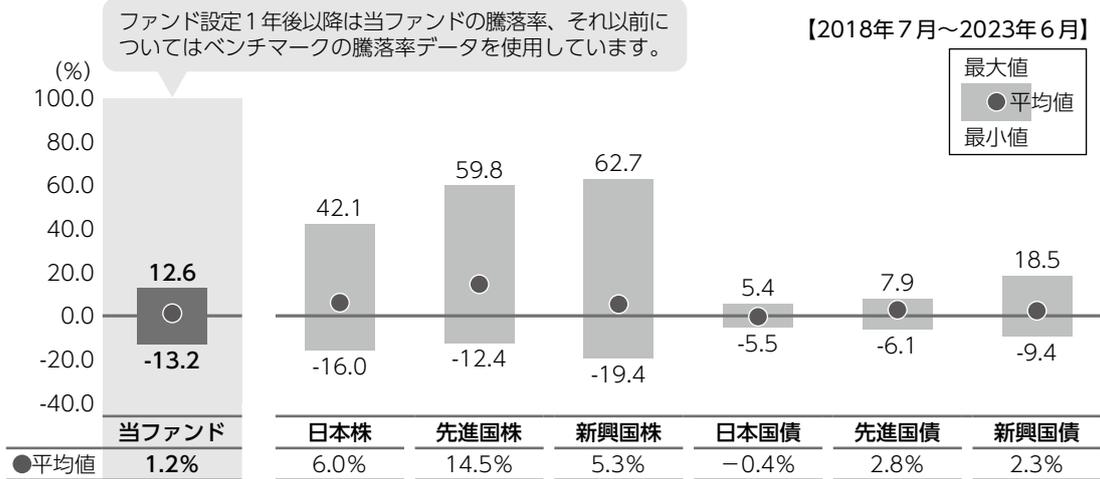
各資産クラスの指数

日本株	TOPIX(東証株価指数、配当込み) 株式会社J P X総研または株式会社J P X総研の関連会社が算出、公表する指数で、日本の株式を対象としています。
先進国株	MSCIコクサイ・インデックス(グロス配当込み、円ベース) MSCI Inc.が開発した指数で、日本を除く世界の主要先進国の株式を対象としています。
新興国株	MSCIエマージング・マーケット・インデックス(グロス配当込み、円ベース) MSCI Inc.が開発した指数で、新興国の株式を対象としています。
日本国債	NOMURA-BPI(国債) 野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が公表する指数で、国内で発行された公募固定利付国債を対象としています。
先進国債	FTSE世界国債インデックス(除く日本、円ベース) FTSE Fixed Income LLCにより運営されている指数で、日本を除く世界の主要国の国債を対象としています。
新興国債	J P モルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット・グローバル・ダイバーシファイド(円ベース) J.P. Morganが算出、公表する指数で、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象としています。

※海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円ベースとしています。

※上記各指数に関する知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。また、上記各指数の発行者および許諾者は、当ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。

日興FWS・新興国債インデックス(為替ヘッジなし)



※上記期間の月末ごとに、それぞれ直近1年間の騰落率を算出し、最大・平均・最小を表示しています。よって、決算日に対応した数値とは異なります。

※当ファンドの騰落率は、分配金(税引前)を分配時に再投資したと仮定して計算したものです。

※全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

各資産クラスの指数

日本株	TOPIX(東証株価指数、配当込み) 株式会社J P X総研または株式会社J P X総研の関連会社が算出、公表する指数で、日本の株式を対象としています。
先進国株	MSCIコクサイ・インデックス(グロス配当込み、円ベース) MSCI Inc.が開発した指数で、日本を除く世界の主要先進国の株式を対象としています。
新興国株	MSCIエマージング・マーケット・インデックス(グロス配当込み、円ベース) MSCI Inc.が開発した指数で、新興国の株式を対象としています。
日本国債	NOMURA-BPI(国債) 野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が公表する指数で、国内で発行された公募固定利付国債を対象としています。
先進国国債	FTSE世界国債インデックス(除く日本、円ベース) FTSE Fixed Income LLCにより運営されている指数で、日本を除く世界の主要国の国債を対象としています。
新興国債	J P モルガン・ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット・グローバル・ダイバーシファイド(円ベース) J.P. Morganが算出、公表する指数で、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象としています。

※海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円ベースとしています。

※上記各指数に関する知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。また、上記各指数の発行者および許諾者は、当ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。

6 当ファンドのデータ

当ファンドの組入資産の内容(2023年7月31日)

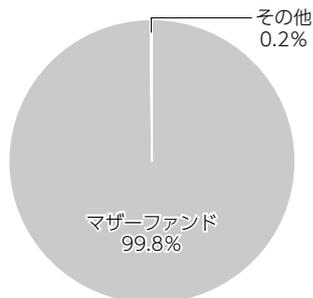
日興FWS・新興国債インデックス(為替ヘッジあり)

組入れファンド等

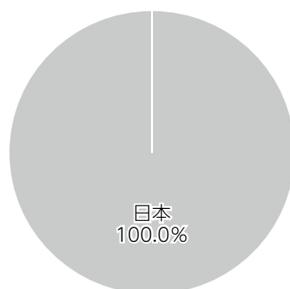
銘柄名	組入比率
米ドル建て新興国債インデックス・マザーファンド	99.8%
コールローン等、その他	0.2%

※比率は、純資産総額に対する割合です。

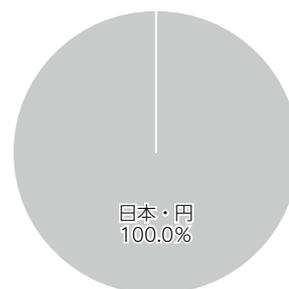
資産別配分(純資産総額比)



国別配分(ポートフォリオ比)



通貨別配分(純資産総額比)



※未収・未払金等の発生により、数値がマイナスになることがあります。
 ※実質外貨建資産に対して対円で為替ヘッジを行っています。

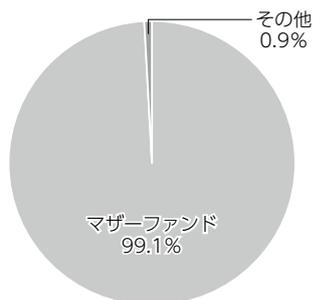
日興FWS・新興国債インデックス(為替ヘッジなし)

組入れファンド等

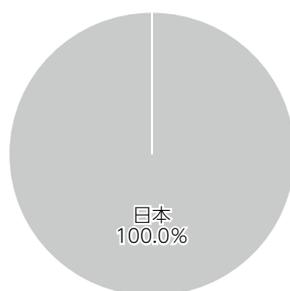
銘柄名	組入比率
米ドル建て新興国債インデックス・マザーファンド	99.1%
コールローン等、その他	0.9%

※比率は、純資産総額に対する割合です。

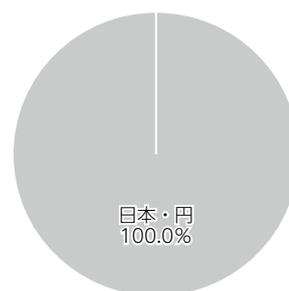
資産別配分(純資産総額比)



国別配分(ポートフォリオ比)



通貨別配分(純資産総額比)



※未収・未払金等の発生により、数値がマイナスになることがあります。

純資産等

項目	第2期末 2023年7月31日		※日興FWS・新興国債インデックス(為替ヘッジあり)の当期における、追加設定元本額は377,079,050円、解約元本額は420,354,931円です。 ※日興FWS・新興国債インデックス(為替ヘッジなし)の当期における、追加設定元本額は2,199,858,549円、解約元本額は268,648,368円です。
	(為替ヘッジあり)	(為替ヘッジなし)	
純資産総額 (円)	445,115,997	2,841,117,482	
受益権総口数 (口)	632,054,433	2,933,626,484	
1万口当たり基準価額(円)	7,042	9,685	

組入上位ファンドの概要

米ドル建て新興国債インデックス・マザーファンド(2022年8月2日から2023年7月31日まで)

基準価額の推移



組入上位銘柄

(基準日：2023年7月31日)

	銘柄名	組入比率
1	SAUDI INTERNATIONAL BOND 2.25 02/02/33	4.4%
2	DOMINICAN REPUBLIC 6 02/22/33	3.8%
3	ABU DHABI GOVT INT'L 1.875 09/15/31	3.7%
4	STATE OF QATAR 3.75 04/16/30	3.6%
5	OMAN GOV INTERNTL BOND 6.25 01/25/31	3.5%
6	UNITED MEXICAN STATES 2.659 05/24/31	3.4%
7	STATE OF QATAR 4.4 04/16/50	3.4%
8	REPUBLIC OF PERU 2.783 01/23/31	2.9%
9	REPUBLIC OF TURKEY 9.875 01/15/28	2.9%
10	REPUBLIC OF COLOMBIA 7.5 02/02/34	2.7%
	全銘柄数	60銘柄

1万口当たりの費用明細

(単位：円)

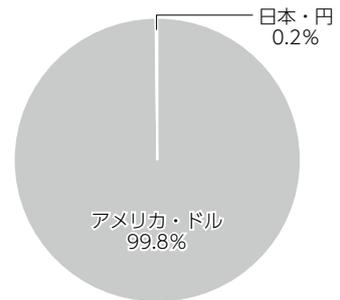
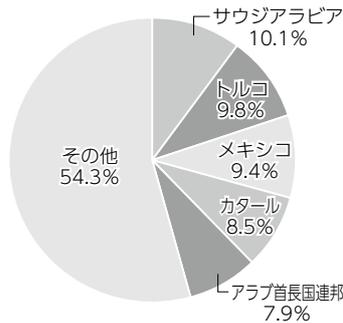
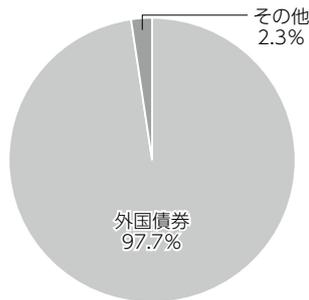
項目	内訳	金額	内訳
その他費用	(保管費用)	2	(2)
	(その他)		(0)
合計		2	

※項目の概要については、前記「費用明細」をご参照ください。

※比率は、純資産総額に対する割合です。

※全組入銘柄につきましては、運用報告書(全体版)に記載されています。

資産別配分(純資産総額比) 国別配分(ポートフォリオ比) 通貨別配分(純資産総額比)



※未収・未払金等の発生により、数値がマイナスになることがあります。

※基準日は2023年7月31日現在です。